

区長記者会見

令和6年度当初予算(案)の事業概要等



区政経営計画書など
当初予算の詳細は
こちらから



令和6年1月31日

令和6年能登半島地震について



水や非常食等の支援物資を石川県七尾市に提供



被災者の区教職員住宅への受入れ

令和6年度当初予算(案)について



令和6年1月31日



**① 総合計画、実行計画の
取組に要する経費を
確実に計上**



② 区民のいのちと暮らしを
守りぬくための
予算を計上



**③将来に渡って安定的に
区民福祉の向上を図るため
持続可能な財政運営の確保**



2,228億9,200万円
前年度比 + 121億9,200万円(105.8%)

■増加の主な要因

- ・職員人件費の増加
(定年退職者発生年度、会計年度任用職員への勤勉手当支給開始)
- ・学校給食費無償化の通年実施

各会計当初予算規模



(単位：千円)

	令和 6 年度	令和 5 年度	差引増減額	前年度比 (%)
一般会計	222,892,000	210,700,000	12,192,000	105.8
国民健康保険事業会計	53,491,356	53,825,351	△333,995	99.4
介護保険事業会計	44,225,634	46,768,742	△2,543,108	94.6
後期高齢者医療事業会計	15,839,388	15,753,364	86,024	100.5
合計	336,448,378	327,047,457	9,400,921	102.9



防災課、耐震・不燃化担当、狭あい道路整備課

- **備蓄品の充実** 5,891万3千円
～発災後3日間分の食料や間仕切り、トイレ収便袋の備蓄、女性特有の必需品等～
- **震災救援所へのポータブル蓄電池の配備** 2,550万円
- **感震ブレーカーの設置促進** 1,312万7千円
- **建物の耐震化・不燃化** 11億5,194万4千円
- **狭あい道路の拡幅整備と突出した電柱移設** 13億7,220万2千円



■令和6年度の取組

テーマ：広く「防災分野」の視点を踏まえた新たな事業

■令和5年度の取組(令和6年度予算反映)

テーマ：「森林環境譲与税基金」の使い道

- ・ 災害時に活用できる用具を公園に設置 717万2千円
- ・ 歩行者が気軽に利用できる木製ベンチをまちなかに広めよう 99万7千円
- ・ 区立公園に木製の遊具やベンチを設置 1,846万2千円



9,516万円

土木計画課、狭あい道路整備課、みどり公園課、学校整備課

水害に対する安全性の向上を更に図るため「雨水流出抑制対策」の加速・強化を進めます。



校庭下に設置する浸透・貯留槽

■雨水流出抑制対策の拡充

■グリーンインフラを活用した 雨水流出抑制対策の検討



「グリーンインフラ(雨庭)」活用事例
四条堀川交差点（京都市）
（出典：京都市ホームページ）



善福寺川流域の
浸水対策について
（区ホームページ）

ゼロカーボンシティの実現へむけて



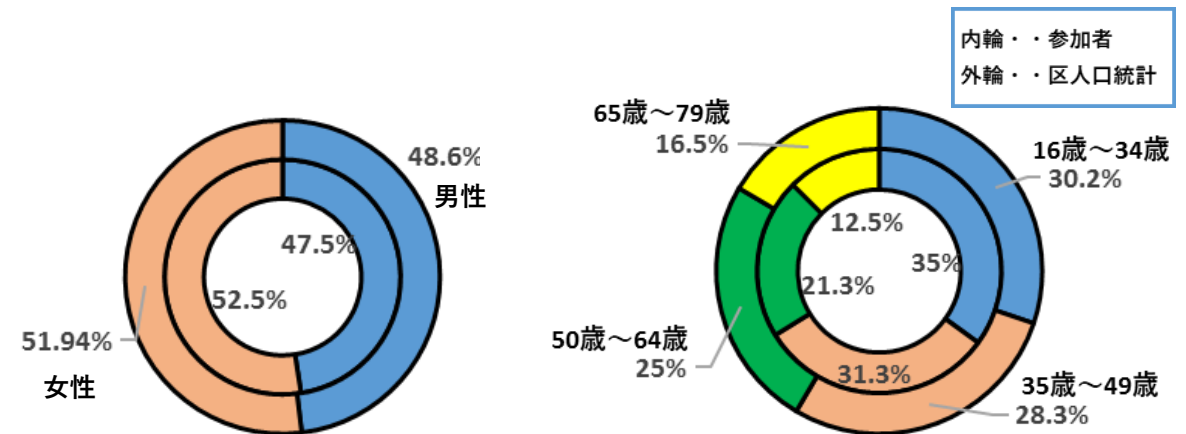
経理課、温暖化対策担当

2050年のゼロカーボンシティの実現を目指し、着実に取組を進めます。

■区本庁舎で調達する電力を100%再生可能エネルギーへ 1億623万3千円

■気候区民会議の開催 1,335万5千円

開催	令和6年3月～（全6回） ※全6回終了後、シンポジウムを開催
参加者	無作為抽出した区民から参加希望者を募り、80名程度を選出



気候区民会議参加者の性別・年齢構成（令和6年1月30日時点）

市民緑地の整備・開設～(仮称)南荻窪いこいの森



1,662万円

みどり公園課

「杉並区みどりの基本計画」の改定を進めるとともに区内4カ所目となる市民緑地「いこいの森」の整備を進めます。

名称	(仮称)南荻窪いこいの森
所在地	南荻窪3丁目
面積	約460㎡
開設時期	令和6年9月



既設の市民緑地（山葉名いこいの森）

みどり公園課、交通施策担当、土木計画課

12月に開園予定の荻外荘公園の整備を進めるとともに、荻窪駅南側地域における回遊性向上のほか、歩行者の安全性向上を図ります。



荻外荘公園の整備
9億3,575万4千円



グリーンスローモビリティの導入
3,000万円



ゾーン30プラスの対策例
(ハンプ・狭さくの設置)

ゾーン30プラスの整備
3,968万4千円

自転車フレンドリープロジェクトの実施



105万円
交通施策担当

「杉並区自転車活用推進計画」に基づき、自転車を安全・安心に楽しく利用できる環境づくりを目指した「自転車フレンドリープロジェクト」を実施します。



自転車安全利用実技講習会



未就学児向け
じてんしゃゲームの実施



民間事業者との協働による
カーゴバイクの実証実験



教育相談担当、学校支援課

■教育相談体制の充実 7,547万円

スクールカウンセラーの拡充・スクールソーシャルワーカーの配置方法の見直し

■部活動指導員、外部指導員の配置拡充 4,104万円

部活動指導員の配置数	8名→12名
部活動の指導補助を行う 外部指導員の配置回数(1校当たり)	360回→410回

※スクールソーシャルワーカー
問題を抱えた子どもと家庭・地域・学
校・関係機関等に対して調整・仲介役
としての役割を担い、子どもを取り巻
く様々な環境に働きかけ、子どもの生
活改善を支援する福祉の専門家



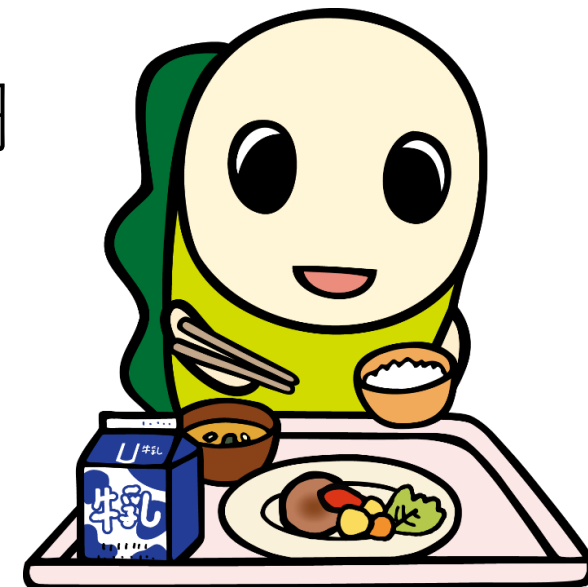
学務課、子ども家庭部管理課

■区立小・中・特別支援学校 18億9,321万5千円

給食費の無償化

■国立・私立等小・中学校 4億8,384万3千円

給食費相当額に当たる給付金の支給

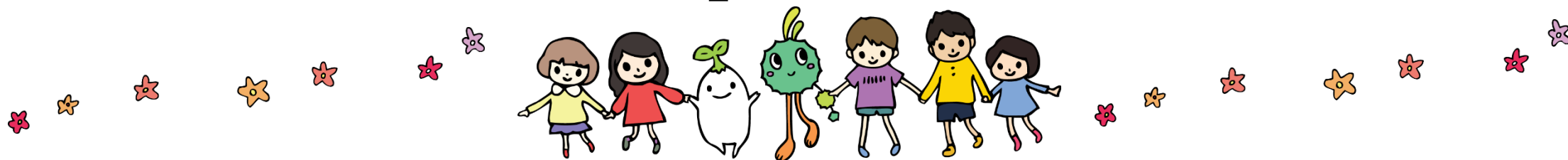


506万6千円

子ども政策担当

子どもの権利擁護をより一層推進するため、「(仮称)子どもの権利に関する条例」の制定を目指します。また、子ども施策について子どもが意見や思いを表明できる場を設けます。

- 「杉並区子どもの権利擁護に関する審議会」の開催
- 「子どもワークショップ」の開催

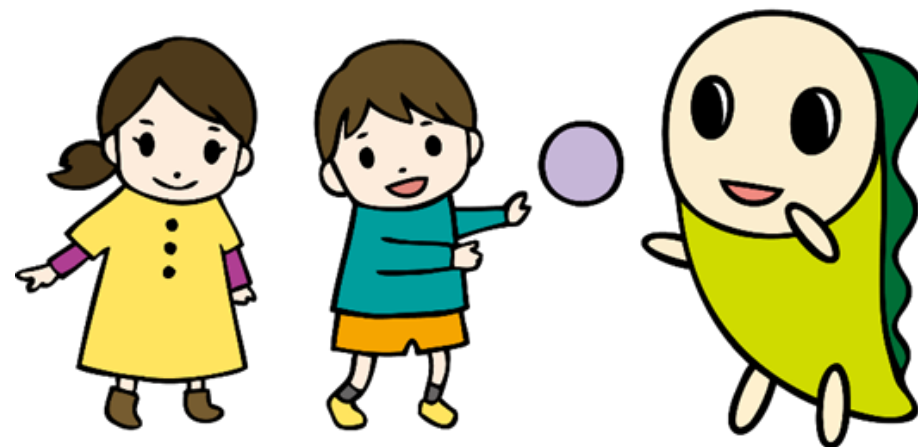


「(仮称)杉並区子ども居場所づくり基本方針」の策定

49万3千円

児童青少年課

全ての子どもが家庭や学校以外に居場所を得られるよう、学識経験者、子ども、保護者、区民の意見を聴き、令和6年度中に区独自の基本方針「(仮称)杉並区子ども居場所づくり基本方針」の策定を目指します。





9億8,230万3千円

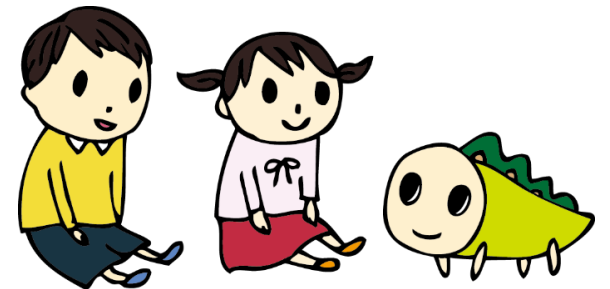
児童相談所設置準備課

令和8年度開設予定の区立児童相談所の整備のほか新たな事業を進め、子どもの命と安全を守る児童相談体制の構築を進めていきます。

■新たな施設の建設工事に着手

■「子どもイブニングステイ」事業の実施

■「児童養護施設退所者等の自立支援」事業の実施



1,242万7千円

子ども家庭支援課

ヤングケアラーが孤立しないよう、安心して相談できる体制づくりを進めます。

■LINEを活用した相談の実証実験の実施

■高校生世代の実態調査の実施

■ヤングケアラーの理解増進・早期発見のための研修の実施





在宅医療・生活支援センター、高齢者在宅支援課、介護保険課

各分野の相談支援機関による重層的支援会議を設置するとともに、地域住民が相互に支え合う仕組みづくりを拡充するなど、包括的な支援体制を整備します。また、ケアを担っている人や機関への支援を強化します。

■重層的支援会議の設置・地域支え合いの仕組みづくりの推進 3,027万1千円

■地域包括支援センター(ケア24)の運営事業者に対する財政支援の拡充 1億1,019万5千円

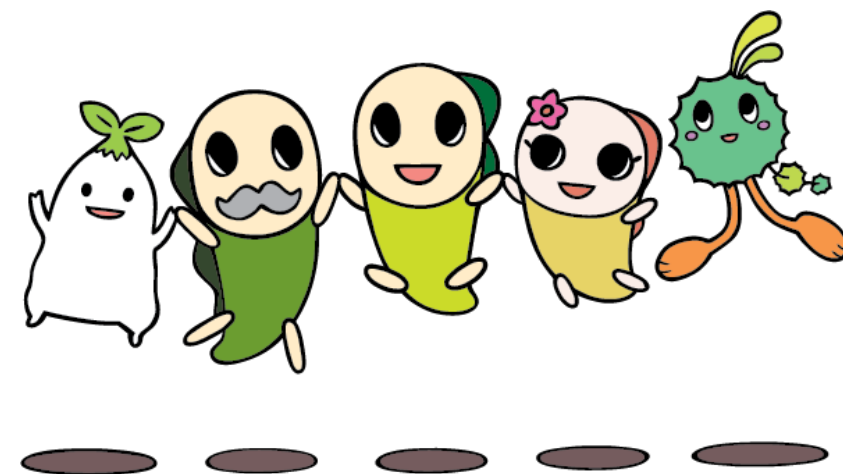
■主任ケアマネジャー及びケアマネジャーに対する法定研修受講料の助成 427万4千円

1,178万1千円

文化・交流課

多くの外国籍の方々が区内で生活しているという実態を踏まえ、多文化共生の推進に取り組みます。

- 在住外国人支援事業の充実
- 多文化共生基本方針の策定
- 「多文化キッズサロン」の設置検討



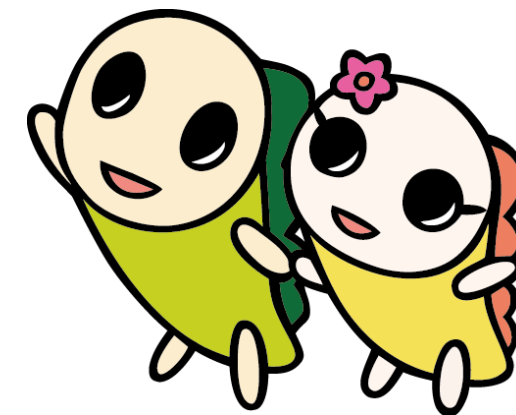
ケアを担う人や機関への支援の強化の一環として、区民生活を支える労働者の処遇を改善します。

■公契約条例労働報酬下限額の引き上げ

下限額1,138円→1,231円 8.17%引き上げ

■会計年度任用職員給与の見直し 10億4,460万3千円

報酬額の上限等の見直し・勤勉手当の支給(特別区共通)





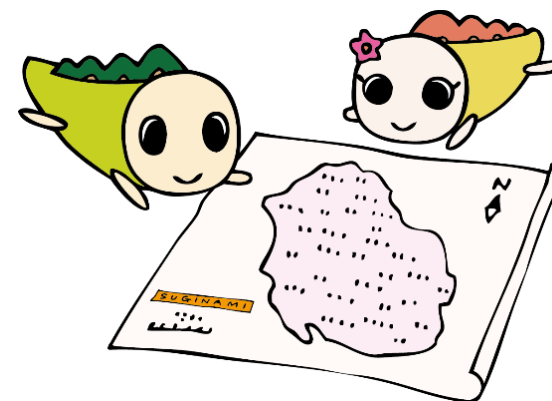
事業調整担当、拠点整備担当、学校整備課

杉並第一小学校の移転改築を含む阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりについて、共同施行者の理解と協力を得ながら透明性の高いプロジェクトとして取り組んでいきます。

■杉並第一小学校移転改築の設計 6,854万7千円

■土地区画整理事業 1億582万5千円

■公民連携まちづくり 555万7千円



区長記者会見

令和6年度当初予算(案)の事業概要等



区政経営計画書など
当初予算の詳細は
こちらから



令和6年1月31日